

## 令和四年度 入学式「校長式辞」 より一部抜粋

皆さんの中には、青春の火を部活動で燃焼しようとして入学してきた人がいるかもしれませんが。あるいは生徒会活動、特に生徒が主体的に運営する桶狭祭と呼ばれる文化祭や、合唱コンクールで精一杯楽しみたいと期待している人もいるでしょう。私は自分から主体的に行動したいという皆さんに

拍手を送りたい。しかし、まずは授業で勝負です。高校生の本分は勉強することなので。本校では義務教育修了した皆さんが一人前に教養を備えた立派な大人になるために勉強をする高等学校なのです。皆さんのもっている全ての力のうち**五十パーセントは授業で勉強することに注ぎこんで欲しいです**。ここでいう授業には予習・復習・宿題を含めます。また一部、進学のためのいわゆる大学受験勉強も含むかもしれませんが。

次に教養で勝負です。一人前の教養を身に付け品格のある人になって欲しいのです。教科書以外の本を数多く読んだり、数種の新聞を読み比べたり、大学や研究機関を訪問して見識を広めるなど、あらゆる努力をしてみることです。この**教養で勝負するために、あなたの力のうち三十パーセントを注ぎこんでください**。そしていよいよ**部活動や学校行事などですが、これには二十パーセント**です

私がかこういうと、なんだかと思う人もいるかもしれませんが、高校生が部活動をしているのであって、部活動生というか部活動人間が余暇活動で勉強しているのではないはずです。またそれぞれ将来の夢というか、絶対この職業につきたいとか、憧れの大学とかがあるのでではないでしょうか？いまは大学のことを漠然としか考えてなくても、きっと遠からず考えるようになります。そうならば、入学式の今日から、授業で勝負、教養で勝負そして部活動で勝負です。また私は**五十・三十・二十**といましたが、これは比率であって、**皆さんの全力を百パーセント**としたときのことですが、**全力の絶対値は皆さんの努力次第でこれから増やせます**。中学までの学ぶ力や運動する力のままでいる必要はないし、高校生活の三年間で皆さんは身体も心もそして頭脳も皆成長するのです。一学期の全力の倍の力が二学期の全力となったとすれば、**全力二十パーセントは一学期と二学期とで大きく異なります**。**あらゆる努力を惜しまず自分の全力を成長させてあげよう**ではありませんか？